

北近畿タンゴ鉄道生活交通改善事業計画に関する協議会 開催結果

1. 日 時

令和5年11月1日（水）15時30分から17時00分まで

2. 場 所

京都府立中丹勤労者福祉会館 4階 大会議室

3. 出席者

委員32名（うち代理3名）
オブザーバー1名
（別紙 出席者名簿参照）

4. 当日資料

別紙のとおり

5. 議 題

第1号 パブリックコメントの要旨

第2号 京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画（仮称）最終案について

6. 主な意見

〈第1号 パブリックコメントの要旨〉

- 特に意見なし。

〈第2号 京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画（仮称）最終案〈案〉について〉

- 「JR 西日本と連携した広域的な新たな観光客の開拓」について、「サイコロきっぷ」のような具体的名称ではなく「JR 西日本と連携した企画旅行の検討を進める」といった形に修正されたい。
- 「網形成計画の取組状況」について、峰山駅にも Wi-Fi 環境があるので追記されたい。
- 計画推進のための実施体制はいつ・誰が・どこで・何をするのか明確にした方がよいのではないかと。また、実施体制を構築するスケジュールについては、目標値を定めておいたほうが良い。
- 今回の計画で書ききれない内容を実施計画にどのように反映するか調整が必要である。また実施主体が多くなると進まなくなることが想定されるので、実施主体の強弱や各主体に期待されている役割などの記載があってもよいのではないかと。

- 「海の京都観光地域戦略」の改定を進めているところであり、本計画としっかり連携しながら取りまとめていきたい。
- 観光に関する企画やコンテンツをしっかりと考えていく必要がある。DMO等との連携やプロモーションの強化といった記載部分について、しっかりとコンテンツの内容を検討していくという文言を反映するだけでも違う。
- 宮津線 100 周年を迎えることから、この機会をどう活用するのかという視点を実施計画に反映した方が良いのではないかな。
- 2025 年に与謝野駅 100 周年ということで活発に活動いただいている。市町の活動について計画には記載が少ないが、実施計画で内容を充実させたい。加悦鉄道も 100 周年を迎えるため、そうした機会も活用を検討いただきたい。
- 鉄道に興味がない方にいかに PR するかが大切だ。計画策定は大変なことなので、実施計画は府民にわかりやすく簡潔なものが良いのではないかな。広く皆さんに理解してもらい、地域と一体となって、分かりやすい形で、同じ方向を向いて取り組んでいく必要がある。